

テーマ別名刺交換会 記録シート

テーマ	ひきこもり者・家族への訪問型・伴走型支援のしくみを考える				
リーダー	山崎（さわらび福祉会 「甲賀・湖南ひきこもり支援 - 奏 - 」） 森（彦根市社協）				
進行補助	富田 （野洲市社協）	記録	三宅 （県社協）	参加者数	20名
<p>1. 課題提起されたこと、グループでの意見交換の視点（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひきこもり」という課題を、福祉のできごとから地域のできごとにする（福祉的支援・相談支援のその先を考える）</li> <li>・福祉路線に乗せることをゴールとしない（Ex. 作業所に繋ぐ等）</li> </ul>					
<p>2. 参加者の気づき、課題と感じていること（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（企業）の理解を進めるための学習・啓発の機会の充実が必要。</li> <li>・わかりやすい相談窓口（当事者・家族・地域の支援者にとって）が市町単位でない。</li> <li>・保健所に相談することの敷居の高さ。</li> <li>・相談を受けたその後の出口支援が充実していない（居場所・就労・活躍の場）。</li> <li>・支援者を支えるネットワーク体制がない。</li> <li>・困難化・長期化する前の早期発見・早期対応が必要。</li> <li>・ひきこもりに関しての、地域の情報・実情が知らない、見えづらい。</li> <li>・全県的な取り組みにできていない。</li> <li>・専門職によるひきこもりになる要因・背景の理解・分析が十分でなかったり、そのことへの理解が広がっていない。</li> </ul>					
<p>3. 現場の課題に対応して、だれと、何を創造実践していきたいか（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護サポートセンターとしての伴走型支援をひきこもり支援に活かす。（ノウハウ・支援の構築）</li> <li>・社会福祉施設や事業所を活用した仕事の間・居場所の提供</li> <li>・啓発の機会の充実（地域の理解が、当事者・家族が安心して暮らし続けるためには大前提）</li> <li>・ひきこもり支援をおこなう関係機関のネットワークづくり</li> <li>・当事者・家族会のサポート（支援のしくみ化）</li> <li>・訪問（アウトリーチ）型支援の構築</li> <li>・民生委員・児童委員だけではなく、地域の見守りサポーターの養成</li> </ul>					